

平成26年

目黒区教育委員会

第19回定例会会議録

(平成26年6月3日開催)

第19回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成26年6月3日

開催場所 教育委員会室

出席委員	目黒区教育委員会委員長	中山ひとみ
	目黒区教育委員会委員	木村肇
	目黒区教育委員会委員	岩田正之
	目黒区教育委員会委員	小村恵子
	目黒区教育委員会教育長	尾崎富雄

出席職員	教育次長	佐々木孝
	教育政策課長	手塚治彦
	学校統合推進課長	田中健二
	学校運営課長	佐藤欣哉
	学校施設計画課長	照井美奈子
	教育指導課長	佐伯英徳
	教職員・教育活動課長	濱下正樹
	めぐろ学校サポートセンター長	千葉富美子
	統括指導主事	佐々木希久子
	統括指導主事	細田真司
	生涯学習課長	金元伸太郎
	八雲中央図書館長	大迫忠義

書記		鈴木敏由起
		山東隆博

(午前9時30分開会)

委員長 第19回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は小村委員です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 目黒区社会教育委員の委嘱について(協議事項))

説明員 (資料により説明)

委員長 この件についてご質問等ございますか。

委員 以前、家庭教育のあり方について諮問したと思いますが、そのときの社会教育委員の任期は切れているのですか。今回諮問を行うため、新たに社会教育委員の委嘱を行うのですか。

説明員 社会教育委員の任期は2年であり、前期の14期の社会教育委員の任期は平成25年6月26日で満了しています。

委員長 その他ご質問等ございますか。

委員長 特にないようですので、この協議を了承します。

次に日程第2を議題とします。

(日程第2 目黒区社会教育委員の会議への諮問について(学習成果を地域に活かしていくための社会教育事業のあり方の具体的施策について)(協議事項))

説明員 (資料により説明)

委員長 この件についてご質問等ございますか。

委員 2年間かけて、答申をいただくわけですが、その答申を受けどのように具体化し、結果を出していくのか道筋を示していただきたいと思います。また、前回の答申を受け、どのように活かしてどのように検証をされてきたのですか。

説明員 委員ご指摘のとおり、答申をいただき、それでその答申をどう活かしていくかが重要だと思います。前回の答申では、仲間づくりが重要であるとの内容がございました。講座を開催するだけでなく、その講座により仲間づくりをして、新たな展開が生まれます。地域サークル講座などを活用し広げていきたいと考えています。

委員 前回の答申については、答申と対比した形で報告をしていただ

きたいと思います。そうでなければ、仕事のための仕事で終わってしまうと思います。

説明員 委員ご指摘のとおり答申を反映することが重要だと考えています。答申を受け、委託家庭教育学級・講座の充実を図ったほか、ホームページで啓発を行いました。また、今年度は、講座などに参加できない方を対象とする啓発冊子を作成する予定です。

委員 前回の答申から1年半経っています。その答申の内容がどう生かされているかを検証していただきたいと思います

説明員 委員のご指摘を踏まえ、啓発冊子の完成後に、家庭教育支援の取り組み状況について報告したいと考えております。なお、現在、生涯学習推進計画の改定作業を進めているところです。そこに家庭教育を組み込んでいく予定ですので、検証し報告いたします。

委員 家庭教育支援がどう活かされているか示していただきたいと思います。

説明員 計画改定の前に報告させていただきます。

委員長 その他ご質問等ございますか。

委員長 特にないようですので、この協議を了承します。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 目黒区社会教育委員の会議への諮問について(平成26年度目黒区立小学校PTA連合会及び目黒区立中学校PTA連合会に対する補助金の交付について)(協議事項))

説明員 (資料により説明)

委員長 この件についてご質問等ございますか。

委員 社会教育委員の会議を置いていない区もあると思います。どのようにして補助金の交付を決定しているのですか。社会教育法では、補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関の意見を聴いて行うこととされています。また、委託という方法もあります。他区の状況はどうか。

委員長 議事の都合により暫時休憩とします。

(午前9時55分、休憩入る)

(午前10時5分、休憩終わる)

委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

説明員 23区の状況を調査したところ、23区中10区に社会教育委員が置かれています。社会教育委員が置かれていないところですが、諮問及び答申が可能な生涯学習の審議会がある場合はそこで意見を聴くこととなります。委託でございますが、品川区、新宿区などが委託を行っていますが、委託は区の事業として委託することとなりますので、団体の自由度はなくなります。

委員 補助金を交付する場合は、調査審議する審議会その他の合議制の機関の意見を聴く必要があるとのことですが、その機関に生涯学習推進協議会も該当するのですか。また、委託との関係はどう解釈すればよいのですか。

説明員 生涯学習推進協議会につきましては、諮問及び答申を受ける機関ではないため、該当はしません。委託となりますと、補助金の交付ということではなく、区と業務委託契約を結ぶこととなります。

委員 委託が可能ならその資料を出してください。また併せてメリット、デメリットや他区の状況の一覧がわかるものを示していただきたいと思います。

説明員 委託のあり方については、他区の状況等を調査した上で、次期委員の委嘱を行うかどうかを含め、検討してまいります。こちらについては改めて当委員会で報告いたします。

委員長 その他ご質問等ございますか。

委員長 特にないようですので、この協議を了承します。
次に日程第3を議題とします。

(日程第4 平成26年度教育委員会事務局各課の主要課題について(報告事項))

説明員 (資料により説明)

委員長 この件についてご質問等ございますか。

委員 教育政策課ですが、学校教育プランの中間のまとめを踏まえ、次年度の予算要求とありますが、それまでに間に合うのでしょうか。

説明員 予算編成の時期は秋ごろでございますので、スケジュール的には厳しいですが、早めに着手し、夏ごろには中間のまとめを行い予算に反映したいと考えています。

委員 行財政改革推進本部から提示された教育委員会事務局の職員数の8人削減を目標にすることですが、教育委員会事務局の職員数はどのくらいでしょうか。

説明員 教育委員会事務局の職員数は79人です。その1割削減が目標となります。

委員 学校教育プラン推進委員会で検討しているアンケート調査についてですが、現時点ではいつごろ、こういったものを検討していますか。

説明員 現在、学校教育プラン推進委員会で検討中です。内容は子どもの進路や指定校の希望などの意識を調査したいと考えており、10月ごろの実施を予定しています。

委員 教育委員会事務局の職員数の削減ですが、現在までも削減されてきました。今回は8人ということですが、このことにより教育行政が後退してはいけないと思います。創意、工夫をこらして前向きにとらえていただきたいと思います。

説明員 単純に1割削減ですと、各課1人ないし2人の削減となります。しかし、それはなかなか難しいので、例えば、特別支援や健康教育の事業は3課にまたがっています。これを一元化したりできないかなどを検討し、教育行政が後退しないよう見直しを検討してまいります。

委員 学校運営課ですが、安全安心な学校給食ということで、放射性物質の対応を取り巻く状況が変化してきているとあります。今後の方向性を説明してください。

説明員 現段階では、昨年度と同様でございますが、現取組みの中でも創意、工夫ができればと考えています。

委員 放射性物質検査について、対象産地を絞ることは考えられませんか。原発事故の影響がない産地を検査するのは無意味だと考えます。

説明員 今年度の検査の方法につきましては、昨年度と同様であります。その中の運用で工夫してまいりたいと思います。

委員 検査対象の選定はどこで行っているのですか。

説明員 各学校で行っています。

委員 学校施設計画課ですが南部・西部地区の統合の検討について4校の耐力度調査等を実施とあります。その結果について報告していただきたいと思います。

説明員 結果については、報告してまいります。

委員 耐力度調査はいつごろ行うのですか。

説明員 授業がない夏季休業期間を中心に6ヶ月程度実施する予定です。

委員 教育指導課ですが、地域との合同防災訓練について調整が必要であるとのことですが、具体的にどこまで進んでいるのですか。

説明員 全体的にはまだまだでございます。目黒中央中では、夏休みに実施していますが、地域ごとに行われている防災訓練に学校がどう絡んでいくかが課題です。学校は被災した場合、避難所となりますので、学校で行っている避難所運営訓練とどう連携していくかということを検討しております。

委員 学校によって差があると思いますので、学校に働きかけをする必要があると思います。

説明員 避難所運営訓練は毎年各地区ごとに、教育委員会と防災課、消防署が連携して実施していますので、各年最低5校は実施しています。それとは別に学校や地域が自主的に実施しているところもありますので、今後は実施していない学校に積極的に働きかけていきたいと考えています。

委員 教職員・教育活動課ですが、教職員の健康診断受診率100パーセントを目指すとありますが、異常所見が出た場合の是正が必要だと思います。

説明員 委員ご指摘のとおり、これは課題でございます。産業医の健康相談を設けておりますが、健康診断の結果に基づき行うものではありませんので、今後検討してまいります。

委員 ランドセル広場の管理について説明してください。

説明員 ランドセル広場は全校で展開しております。地域の方にご協力いただき、管理運営員を2～3人配置しております。

委員 ランドセル広場は、雨天時に校舎を使用できないのですか。

説明員 ランドセル広場の実施場所は校庭です。校舎については、管理区分の問題があり、直ちに実施は難しい状況です。

委員 めぐる学校サポートセンターですが、不登校児童・生徒の対応とあります。不登校の中には、虐待も含まれていると思いますが、検出していただきたいと思います。

説明員 虐待については課題でございます。学校に通っている児童・生徒に対しては、異常を察知することができますが、不登校の場合は、それが難しいということです。過去に不登校の児童・生徒で保護者から虐待を受けていて、医療機関にかかり発見したケースがありました。虐待につきましても、子ども家庭課、子ども家庭

支援センターと連携し、課題解決したいと考えています。

委員 生涯学習課の、めぐろシティカレッジですが、受講生が減っているとのことですが、何か原因があるのですか。

説明員 新たな受講生を取り込めていない現状があります。毎年繰り返し受講していただく方がいますが、高齢化しています。若い方にも魅力あるよう講座をアピールしていきたいと思います。

委員 シティカレッジへの補助金の交付について検討するとありますが、安易に補助金を増やすのではなく工夫していただきたいと思います。

説明員 シティカレッジの活性化に向けての支援の視点で検討してまいります。

委員 青少年の事務について、本来は区長の事務であります。補助執行により教育委員会が行っています。しかし、今後のありかたについて区長部局と教育委員会が実施する場合のメリット・デメリットを検証すべきだと思います。

説明員 今後のあり方についてしっかりと検討してまいります。

委員 八雲中央図書館の通年開館について考えを聞かせてください。

説明員 平成27年度以降に委託を拡大し、通年開館に向けた取り組みを行いたいと考えてございます。

委員 取り組みについては、途中経過であっても報告いただきたいと思います。

説明員 委員ご指摘のとおり報告いたします。

委員長 その他ご質問等ございますか。

委員長 特にないようですので、この報告を受けました。

本日は時間の都合により、日程第5を議題とする前に日程第6を議題とします。

(日程第6 隣接学校希望入学制度に関するアンケートの実施について(報告事項))

説明員 (資料により説明)

委員長 この件についてご質問等ございますか。

委員 アンケートの集計は単純集計ですか。クロス集計ですか。また、分析も行うのですか。

説明員 アンケートの集計は評価・分析まで含めて業者委託を考えております。そして、報告書を作成いたします。

- 委員 目的の中段で、「ここ数年申し込み率が一定しているなど、保護者に定着しているものと考えている」とありますが、ここで評価を述べています。評価が定まっていればアンケートを実施する必要がありません。
- 説明員 この表記について検討いたします。
- 委員長 その他ご質問等ございますか。
- 委員長 特にないようですので、この報告を受けました。
- 委員長 以上で、本日の定例会を閉会します。

(午前11時47分閉会)